

表 12-3-1

		合計	そう 思う	言 え ば そ う 思 う	ど ち ら か と 思 わ な い	言 え ば そ う と	ど ち ら か と 思 わ な い	そ う は 思 わ な い	統 計 的 検 定
1 女性は男性を立てるべきだ	10歳代	126	0.8%	7.1%	33.3%	58.7%	p=.023 *		
	20歳代	172	1.2%	14.0%	30.2%	54.7%			
	30歳代	179	3.4%	15.6%	31.8%	49.2%			
	40歳代	195	2.1%	13.8%	37.9%	46.2%			
	50歳代	215	1.9%	18.6%	33.5%	46.0%			
	60歳代	261	1.9%	17.6%	31.0%	49.4%			
	70歳代以上	228	3.1%	24.1%	33.3%	39.5%			
	合計	1376	2.1%	16.6%	33.0%	48.3%			
2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい	10歳代	126	11.1%	37.3%	25.4%	26.2%	p<.001 ***		
	20歳代	172	11.0%	33.7%	24.4%	30.8%			
	30歳代	179	8.4%	31.3%	32.4%	27.9%			
	40歳代	195	12.3%	41.5%	24.1%	22.1%			
	50歳代	216	18.1%	39.4%	25.0%	17.6%			
	60歳代	261	19.2%	41.0%	23.4%	16.5%			
	70歳代以上	229	26.6%	43.2%	17.0%	13.1%			
	合計	1378	16.1%	38.7%	24.2%	21.0%			
3 昇給・昇進など、職場で男女の処遇に違いが問題だ	10歳代	126	70.6%	22.2%	4.0%	3.2%	p<.001 ***		
	20歳代	174	66.7%	25.3%	6.9%	1.1%			
	30歳代	179	52.5%	34.1%	7.8%	5.6%			
	40歳代	194	47.4%	40.7%	8.2%	3.6%			
	50歳代	216	50.0%	35.2%	11.1%	3.7%			
	60歳代	262	50.0%	38.5%	8.4%	3.1%			
	70歳代以上	226	37.6%	46.0%	11.9%	4.4%			
	合計	1377	51.9%	35.8%	8.7%	3.6%			
4 ドメスティック・バイオレンス（DV）は振るう側にこそ問題がある	10歳代	126	63.5%	29.4%	1.6%	5.6%	p=.072		
	20歳代	173	64.2%	26.0%	6.4%	3.5%			
	30歳代	179	56.4%	33.5%	5.6%	4.5%			
	40歳代	193	50.8%	38.3%	6.2%	4.7%			
	50歳代	217	55.8%	33.6%	7.4%	3.2%			
	60歳代	262	57.6%	28.6%	8.8%	5.0%			
	70歳代以上	222	46.8%	37.8%	9.5%	5.9%			
	合計	1372	55.8%	32.7%	6.9%	4.6%			
5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい	10歳代	126	15.1%	30.2%	31.7%	23.0%	p<.001 ***		
	20歳代	173	11.6%	19.1%	32.4%	37.0%			
	30歳代	179	8.9%	12.8%	36.3%	41.9%			
	40歳代	195	7.7%	13.8%	37.4%	41.0%			
	50歳代	216	8.3%	20.4%	41.7%	29.6%			
	60歳代	261	11.5%	20.7%	34.9%	33.0%			
	70歳代以上	223	17.9%	40.8%	27.8%	13.5%			
	合計	1373	11.5%	22.6%	34.7%	31.2%			

## つづき

		合計	そう 思う	言 え ば そ う と 思 う	ど 思 わ ら な い と 思 う	言 え ば そ う と 思 わ ない	ど 思 わ ら な い と 思 わ ない	統計 的 検 定
6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ	10歳代	125	48.8%	40.8%	4.8%	5.6%	p<.001 ***	
	20歳代	172	60.5%	32.0%	7.0%	0.6%		
	30歳代	178	43.3%	42.7%	12.4%	1.7%		
	40歳代	194	37.1%	45.4%	14.9%	2.6%		
	50歳代	217	32.7%	45.6%	19.4%	2.3%		
	60歳代	261	38.3%	46.7%	13.0%	1.9%		
	70歳代以上	227	28.6%	55.5%	13.2%	2.6%		
	合計	1374	40.0%	44.9%	12.7%	2.3%		
7 女性が「土俵に上がれない」「祭りのみこしに乘れない、担げない」など女人禁制のしきたりがあるが、伝統として尊重すべきだ	10歳代	126	7.1%	24.6%	47.6%	20.6%	p<.001 ***	
	20歳代	173	11.6%	24.9%	35.8%	27.7%		
	30歳代	178	12.9%	25.3%	39.9%	21.9%		
	40歳代	194	19.1%	33.0%	31.4%	16.5%		
	50歳代	215	16.7%	33.5%	32.6%	17.2%		
	60歳代	261	9.6%	25.3%	36.0%	29.1%		
	70歳代以上	226	11.5%	34.1%	31.9%	22.6%		
	合計	1373	12.8%	29.0%	35.7%	22.5%		
8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい	10歳代	125	8.0%	32.8%	32.0%	27.2%	p<.001 ***	
	20歳代	172	6.4%	23.3%	27.9%	42.4%		
	30歳代	178	5.6%	25.8%	32.6%	36.0%		
	40歳代	194	6.7%	27.3%	34.5%	31.4%		
	50歳代	216	7.4%	28.7%	35.2%	28.7%		
	60歳代	262	6.5%	29.0%	33.6%	30.9%		
	70歳代以上	228	15.8%	42.1%	23.7%	18.4%		
	合計	1375	8.2%	30.1%	31.3%	30.3%		
9 日本は、まだまだ男女が平等な社会になっていないと思う	10歳代	126	52.4%	36.5%	7.1%	4.0%	p<.001 ***	
	20歳代	173	56.1%	37.0%	6.4%	0.6%		
	30歳代	179	44.1%	43.6%	8.4%	3.9%		
	40歳代	194	43.8%	48.5%	7.7%	0.0%		
	50歳代	216	45.8%	47.7%	6.0%	0.5%		
	60歳代	263	47.5%	43.0%	8.0%	1.5%		
	70歳代以上	228	33.3%	50.9%	12.3%	3.5%		
	合計	1379	45.5%	44.5%	8.1%	1.9%		

表 12-3-2

F2 年齢	1 女性は男性を立てるべきだ・逆	2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい・逆	3 昇給・昇進など、職場で男女の処遇に違いがあるのは問題だ	5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい・逆	6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ	7 女性が「土俵に上がれない」「祭りのみこしに乗れない、担げない」など、女性禁制のしきたりがあるが、伝統として尊重すべきだ・逆	8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい・逆	9 日本は、まだまだ男女が平等な社会になっていないと思う
10歳代	3.5	2.7	3.6	2.6	3.3	2.8	2.8	3.4
20歳代	3.4	2.8	3.6	3.0	3.5	2.8	3.1	3.5
30歳代	3.3	2.8	3.3	3.1	3.3	2.7	3.0	3.3
40歳代	3.3	2.6	3.3	3.1	3.2	2.5	2.9	3.4
50歳代	3.2	2.4	3.3	2.9	3.1	2.5	2.9	3.4
60歳代	3.3	2.4	3.4	2.9	3.2	2.9	2.9	3.4
70歳代以上	3.1	2.2	3.2	2.4	3.1	2.7	2.5	3.1
合計	3.3	2.5	3.4	2.9	3.2	2.7	2.8	3.3

表 12-3-1 と表 12-3-2 より、以下のような解釈が可能です。

「1 女性は男性を立てるべきだ・逆」は、50 歳代より年齢が下がるほど平均値が高くなっています。「3 昇給・昇進など、職場で男女の処遇に違いがあるのは問題だ」については、おおむね年齢が下がるほど平均値が高くなっています。「2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい・逆」、「5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい・逆」、「6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ」、「8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい・逆」については、60 歳代から 30 歳代まで年齢が下がるほど平均値は高くなっているのですが、20 歳代、あるいは、10 歳代で平均値が低下している点は気になるところです。

上記の結果から、年齢が高い人よりも年齢が低い人の方が女性の人権意識は高い傾向があるものの年齢が下がるほど、女性の人権意識が高くなるとは言いきれません。

表 12-4-1 は、職種と女性の人権についての考え方との関連をみたものです。

「4 ドメスティック・バイオレンス (DV) は振るう側にこそ問題がある」、「9 日本は、まだまだ男女が平等な社会になっていないと思う」以外の 7 項目において、女性の人権についての考え方に職種の違いがみられます。

表 12-4-2 は、表 12-4-1 で統計的な有意差が認められた項目について平均値を求めたものです。

表 12-4-1

		合計	そう 思う	言 え ば そ う と 思 う	ど ち ら か と 思 わ な い	言 え ば そ う と 思 わ な い	そ う は 思 わ な い	統 計 的 検 定
1 女性は男性を立てるべきだ	自営業	72	4.2%	18.1%	27.8%	50.0%	p=.014 *	
	自由業	14	0.0%	14.3%	28.6%	57.1%		
	公務員・教員	60	1.7%	10.0%	28.3%	60.0%		
	経営者・役員	35	2.9%	25.7%	40.0%	31.4%		
	正規職員	318	2.2%	17.3%	32.7%	47.8%		
	非正規職員	284	0.7%	15.8%	35.6%	47.9%		
	学生	165	0.6%	8.5%	31.5%	59.4%		
	無職	417	3.4%	20.9%	33.6%	42.2%		
	合計	1365	2.1%	16.9%	33.1%	47.8%		
2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい	自営業	72	25.0%	40.3%	12.5%	22.2%	p<.001 ***	
	自由業	14	7.1%	42.9%	35.7%	14.3%		
	公務員・教員	60	3.3%	28.3%	31.7%	36.7%		
	経営者・役員	35	22.9%	37.1%	25.7%	14.3%		
	正規職員	320	12.8%	37.8%	26.6%	22.8%		
	非正規職員	282	13.8%	37.9%	29.4%	18.8%		
	学生	165	12.7%	34.5%	25.5%	27.3%		
	無職	418	21.3%	42.3%	19.6%	16.7%		
	合計	1366	16.0%	38.6%	24.5%	20.9%		
3 昇給・昇進など、職場で男女の処遇に違いが問題だ	自営業	72	36.1%	47.2%	9.7%	6.9%	p<.001 ***	
	自由業	14	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%		
	公務員・教員	60	60.0%	21.7%	6.7%	11.7%		
	経営者・役員	35	54.3%	37.1%	2.9%	5.7%		
	正規職員	320	50.6%	36.6%	9.7%	3.1%		
	非正規職員	283	53.4%	37.5%	8.1%	1.1%		
	学生	165	77.0%	17.6%	3.0%	2.4%		
	無職	415	43.6%	42.4%	9.9%	4.1%		
	合計	1364	51.9%	36.1%	8.5%	3.5%		
4 ドメスティック・バイオレンス（DV）は振るう側にこそ問題がある	自営業	72	47.2%	33.3%	12.5%	6.9%	p=.120	
	自由業	14	71.4%	14.3%	7.1%	7.1%		
	公務員・教員	60	56.7%	33.3%	5.0%	5.0%		
	経営者・役員	34	61.8%	35.3%	0.0%	2.9%		
	正規職員	319	54.5%	32.9%	8.5%	4.1%		
	非正規職員	283	59.0%	32.5%	4.2%	4.2%		
	学生	165	65.5%	25.5%	3.6%	5.5%		
	無職	412	51.0%	35.9%	8.7%	4.4%		
	合計	1359	55.8%	32.7%	6.9%	4.6%		
5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい	自営業	72	13.9%	30.6%	25.0%	30.6%	p<.001 ***	
	自由業	14	0.0%	28.6%	21.4%	50.0%		
	公務員・教員	60	8.3%	10.0%	35.0%	46.7%		
	経営者・役員	35	17.1%	34.3%	25.7%	22.9%		
	正規職員	320	10.0%	17.5%	36.9%	35.6%		
	非正規職員	283	7.1%	19.8%	42.8%	30.4%		
	学生	165	15.8%	26.7%	31.5%	26.1%		
	無職	412	13.6%	26.7%	32.5%	27.2%		
	合計	1361	11.4%	22.8%	35.0%	30.9%		

つづき

		合計	そう思う	そう思う	言えばそうと 思われない	言えばそうと 思う	そうは思わない	統計的検定
6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ	自営業	72	31.9%	54.2%	8.3%	5.6%	p<.001 ***	
	自由業	14	42.9%	50.0%	7.1%	0.0%		
	公務員・教員	60	41.7%	51.7%	6.7%	0.0%		
	経営者・役員	35	31.4%	40.0%	22.9%	5.7%		
	正規職員	320	41.3%	43.1%	15.0%	0.6%		
	非正規職員	283	40.6%	43.8%	14.5%	1.1%		
	学生	164	59.1%	32.9%	4.3%	3.7%		
	無職	414	32.6%	50.7%	13.0%	3.6%		
	合計	1362	39.9%	45.3%	12.4%	2.3%		
7 女性が「土俵に上がれない」「祭りのみこしに乗れない、担げない」など女人禁制のしきたりがあるが、伝統として尊重すべきだ	自営業	72	22.2%	20.8%	41.7%	15.3%	p=.010 *	
	自由業	14	28.6%	21.4%	42.9%	7.1%		
	公務員・教員	60	10.0%	30.0%	33.3%	26.7%		
	経営者・役員	35	14.3%	40.0%	22.9%	22.9%		
	正規職員	321	16.2%	24.9%	37.4%	21.5%		
	非正規職員	282	9.9%	34.4%	32.6%	23.0%		
	学生	165	7.3%	23.6%	44.8%	24.2%		
	無職	412	12.1%	31.1%	34.2%	22.6%		
	合計	1361	12.7%	28.9%	36.1%	22.3%		
8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい	自営業	72	15.3%	40.3%	30.6%	13.9%	p<.001 ***	
	自由業	14	0.0%	21.4%	42.9%	35.7%		
	公務員・教員	60	1.7%	31.7%	25.0%	41.7%		
	経営者・役員	35	14.3%	40.0%	20.0%	25.7%		
	正規職員	320	6.3%	26.6%	36.3%	30.9%		
	非正規職員	282	5.0%	29.8%	35.1%	30.1%		
	学生	164	7.3%	23.8%	29.9%	39.0%		
	無職	417	11.5%	32.9%	28.1%	27.6%		
	合計	1364	8.1%	30.1%	31.6%	30.2%		
9 日本は、まだまだ男女が平等な社会になっていないと思う	自営業	72	40.3%	44.4%	12.5%	2.8%	p=.131	
	自由業	14	50.0%	35.7%	7.1%	7.1%		
	公務員・教員	60	43.3%	46.7%	8.3%	1.7%		
	経営者・役員	35	42.9%	51.4%	5.7%	0.0%		
	正規職員	320	44.1%	44.7%	10.0%	1.3%		
	非正規職員	284	45.1%	49.6%	4.6%	0.7%		
	学生	165	55.2%	37.6%	4.2%	3.0%		
	無職	417	44.8%	43.2%	9.6%	2.4%		
	合計	1367	45.6%	44.6%	8.0%	1.8%		

表 12-4-2

	1 女性は男性を立てるべきだ・逆	2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい・逆	3 昇給・昇進など、職場で男女の処遇に違いがあるのは問題だ	5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい・逆	6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ	7 女性が「土俵に上がれない」「祭りのみこしに乗れない、担げない」など女人禁制のしきたりがあるが、伝統として尊重すべきだ・逆	8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい・逆
F3 職業							
自営業	3.2	2.3	3.1	2.7	3.1	2.5	2.4
自由業	3.4	2.6	3.1	3.2	3.4	2.3	3.1
公務員・教員	3.5	3.0	3.3	3.2	3.4	2.8	3.1
経営者・役員	3.0	2.3	3.4	2.5	3.0	2.5	2.6
正規職員	3.3	2.6	3.4	3.0	3.3	2.6	2.9
非正規職員	3.3	2.5	3.4	3.0	3.2	2.7	2.9
学生	3.5	2.7	3.7	2.7	3.5	2.9	3.0
無職	3.2	2.3	3.3	2.7	3.1	2.7	2.7
合計	3.3	2.5	3.4	2.9	3.2	2.7	2.8

表 12-4-1 と表 12-4-2 より、以下のような解釈が可能です。

「1 女性は男性を立てるべきだ・逆」、「2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい・逆」、「8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい・逆」については、自営業、経営者・役員の人々が他の職種よりも平均値が低くなっています。

「2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい・逆」については、公務員・教員において他の職種よりも平均値が高くなっています。「3 昇給・昇進など、職場で男女の処遇に違いがあるのは問題だ」については、学生が他の職種よりも平均値が高くなっています。「5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい・逆」についても職種と関連が見られ、経営者・役員において平均値が低いことがわかります。「6 男性も積極的に育児休業を取るべきだ」では、学生、自由業、公務員・教員の平均値が高くなっています。「7 女性が「土俵に上がれない」「祭りのみこしに乗れない、担げない」など女人禁制のしきたりがあるが、伝統として尊重すべきだ・逆」では、自由業で平均値が低くなっています。

ただ、いずれかの職種が女性の人権意識が高いと言えるのかという判断は困難です。

地区別の女性の人権についての考え方との関連をみたところ、表 12-5-1 の「6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ」という項目のみ地区の違いがみられました。

表 12-5-2 は、この項目について平均値を求めたものです。

表 12-5-1

		合計	そう思う	言えばそう思う	どちかわらない	言えばそうと	どちかわない	そうは思わ	統計的検定
6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ	三田地区	156	34.6%	48.7%	15.4%	1.3%	p=.040 *		
	三輪地区	175	45.1%	38.9%	12.0%	4.0%			
	広野地区	55	41.8%	43.6%	14.5%	0.0%			
	小野地区	28	50.0%	39.3%	10.7%	0.0%			
	高平地区	35	42.9%	40.0%	14.3%	2.9%			
	藍地区	24	37.5%	41.7%	16.7%	4.2%			
	本庄地区	23	21.7%	60.9%	13.0%	4.3%			
	フラワータウン地区	271	33.6%	47.6%	15.5%	3.3%			
	ウッディタウン地区	437	45.5%	41.4%	11.2%	1.8%			
	カルチャータウン地区	47	34.0%	46.8%	19.1%	0.0%			
	つつじが丘地区	87	33.3%	62.1%	2.3%	2.3%			
	合計	1338	39.9%	45.1%	12.7%	2.3%			

表 12-5-2

F4地区	6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ
三田地区	3.2
三輪地区	3.3
広野地区	3.3
小野地区	3.4
高平地区	3.2
藍地区	3.1
本庄地区	3.0
フラワータウン地区	3.1
ウッディタウン地区	3.3
カルチャータウン地区	3.2
つつじが丘地区	3.3
合計	3.2

「6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ」について、本庄地区、藍地区、フラワータウン地区が、他の地区よりも平均値が幾分低い傾向が見られます。

この結果のみでは、地区と女性の人権意識の関連について結論づけはできません。